

子どもへの夢の懸け橋に

元プロバスケット選手 楯さん (関市出身)

無料スクール開催へ支援募る

関市出身でプロバスケットボール選手として活躍した楯昌宗さん(33)が9月に現役を引退し、子ども向けのスクール事業に向けて動き出している。ポイントガードとしてプロの世界で8年間戦った。「岐阜でB1リーグを経験したのは僕一人。育ててくれた岐阜への恩返しを込めて経験を伝えたい」と話す。

(野田祐治)

「努力の大切さ伝えたい」

美濃加茂高校出身の楯さんは大学卒業後、2年半サラリーマン生活を送った。プロの夢を諦めきれず、2013年に合同トライアウトを受けてBリーグの前身のbjリーグ信州に入団。Bリーグが発足した2016年にはB1仙台でプレーし、国内最高峰リーグを経験した。昨季まで、プロ5クラブに所属した。

8月にスポーツマネジメント会社「GROW UP BASKETBALL CREATE」を立ち上げた。地域の企業とタイアップし、小学生から高校生を対象とした無料スクールの開催を目指し、現在はスポンサー集めに奔走している。

中学時代は控え選手。高校、大学時代は全国大会を経験したが決してエリート選手ではなく、地道な努力でプロの座をもぎ取った。華やかな成功談ではなく、夢を諦めずに挑戦し続けた経験を子どもたちに伝えることができる。「競技を越えて、夢を持つことや努力し続ける大切さを伝えたい」と力を込める。

また、商業施設などでの3人制バスケのイベント開催のほか、企業研修でのモチベーションアップの講演会も計画する。事業の詳細や問い合わせは、メール masamune.011433@email.com まで。



子ども向けスクール事業について意気込みを語る楯昌宗さん(岐阜新聞本社)